



文化×学び×出会い  
Sasebo Expo 2018



2月3日(土)、日本と外国の文化をそれぞれ紹介し、体験しながら相互理解を深めるイベント「Sasebo Expo 2018」が市民文化ホールで開催されました。本市が本年度から取り組んでいる「英語で交わるまち SASEBO プロジェクト」の一環で、同プロジェクトではこのほか、フェイスブックで英語等に関する情報発信を行う「Sasebo E Channel」の開設や外国人との交流バスツアーなどに取り組んできました。会場は和楽器体験や英語でのストーリーテリングなど8つのブースが設けられ、多くの参加者がそれぞれの文化を体験しました。ステージでは日本人と外国人の合同による琴や和太鼓の演奏が披露され、イベントの最後には「節分」に合わせ、日本の伝統行事「豆まき」が行われました。「鬼は外、福は内」の掛け声とともに豆がまかれると、会場は大きな歓声に包まれ、大いに盛り上がりました。

- 1 日頃の練習の成果を披露する ILS させぼ琴チームの皆さん
- 2 龍王太鼓保存会の皆さんと合同で太鼓演奏を披露するサセボエリートリースクール太鼓チームの皆さん
- 3 参加者に福が来ることを願い、多くの皆さんが参加した「豆まき」

1月31日(水)、本市出身で、佐世保観光名誉大使を務める前川清さんが市役所を訪れ、朝長市長に近況などを報告しました。若能生活50周年を記念したコンサートを開催予定の前川さんは「佐世保での思い出話やテレビ番組の裏話などを交え、楽しいコンサートにしたい」と意気込みを語り、「佐世保に育てられて本当に感謝しています。テレビ番組などを通して佐世保をさらにPRしたい」と話しました。

前川清コンサート  
5月24日(水) アルカス SASEBO  
④ ソワード ☎ 22・20036



若能生活50周年  
佐世保観光名誉大使 前川清さん

認定証が交付されました。観光PRができる人材育成を目的に佐世保観光コンベンション協会が平成24年度から実施しており、合格者は延べ159人となりました。タフシー連転手の松永幹朗さん(写真)は「佐世保の魅力を発信するのが私たちの使命。多くの人に良さを伝えていきたい」と合格者を代表し、あいさつしました。



観光マイスターシルバー認定証授与式

1月30日(火)「海風の国」佐世保・小値賀観光マイスターシルバー認定証授与式が行われ、過去最多となる51人の合格者に行われた。



歌会始出席を市長に報告

1月22日(月)、ことしの「歌会始の儀」に戦後最年少で入選した中島由優樹さん(清水中1年)が市役所を訪れ、皇居で行われた歌会始の儀に出席したことなどを朝長市長に報告しました。中島さんは「緊張してよく覚えていませんが、天皇、皇后両陛下はとてもまじく見えました」と振り返り、陛下に「今後、歌を書くのですか」と尋ねられ「はい」と答えたことなど話しました。朝長市長は「大変名誉なこと、多くの市民の励みになりました」と中島さんの功績をたたえました。